

滝山3・4丁目地域の減災・防災対策に関するアンケート 集計

(東久留米市社会福祉協議会による現況調査)

前触れなく、突然訪れる災害 - あなたはどうしますか？

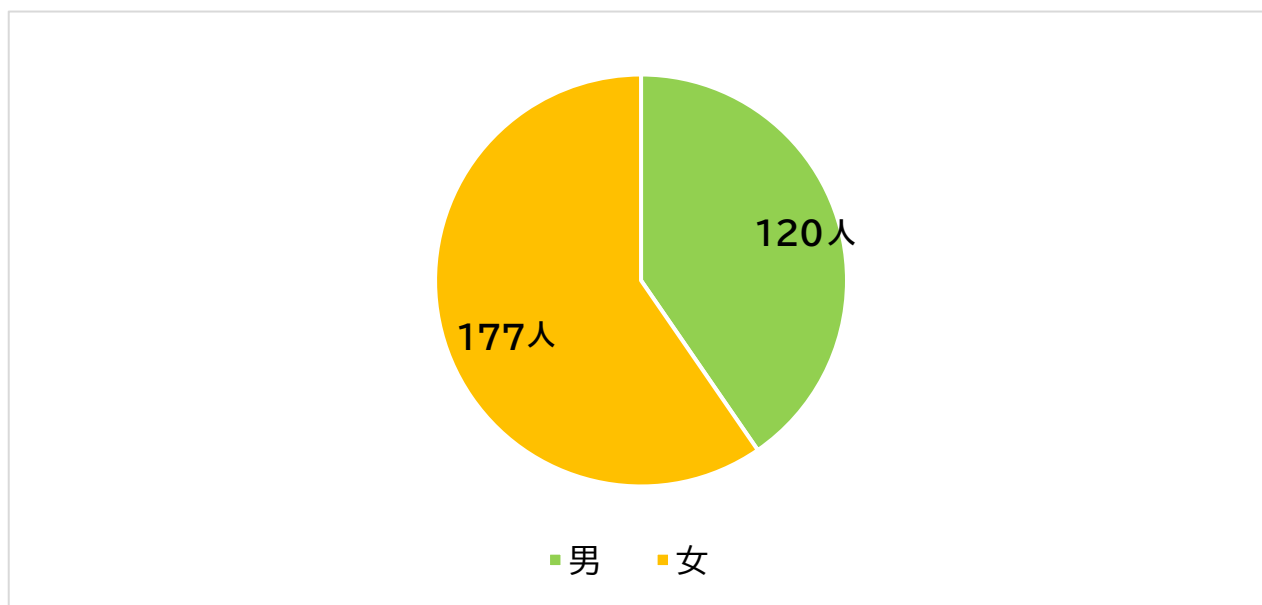
【安心して心豊かに暮らせる地域づくりにむけて】

- ・対象 滝山3・4丁目にお住まいの方 903世帯
回答数 299件、回答率 33.1%
(郵送 274件、WEB 25件)
- ・期間 令和5年12月1日(金)～12月20日(水)



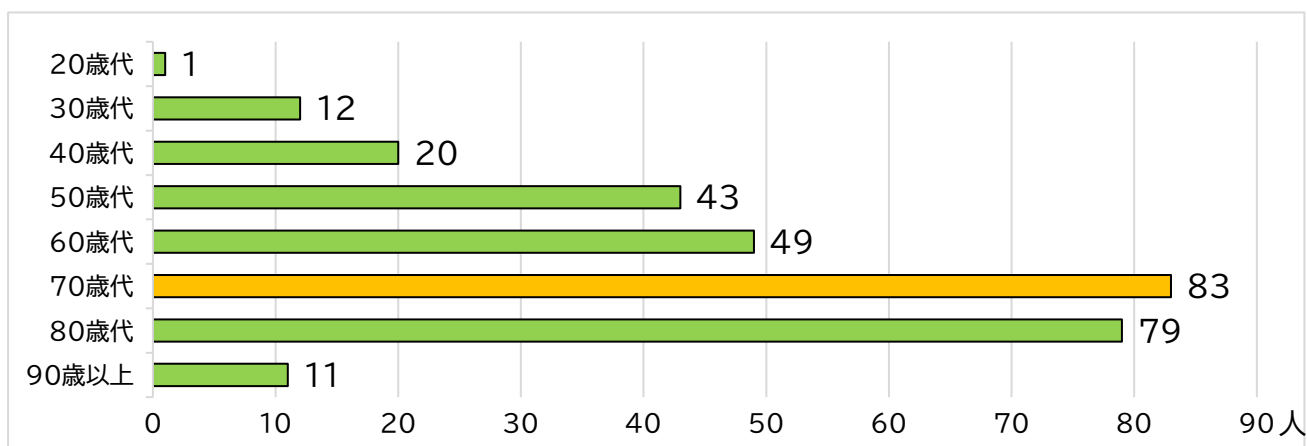
【回答者のこと】

Q1 性別



男	女	未回答	合計
120 (40.4%)	177 (59.6%)	2	299 (100%)

Q2 年齢



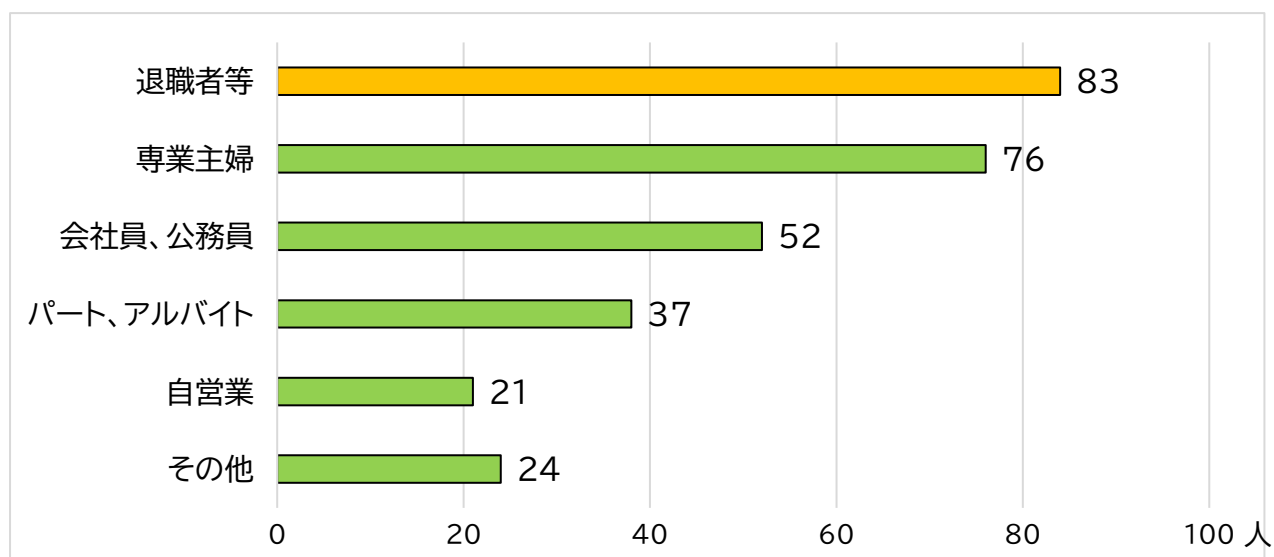
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
1 (0.3%)	12 (4.0%)	20 (6.7%)	43 (14.4%)	49 (16.5%)	83 (27.9%)	79 (26.5%)	11 (3.7%)	1	299 (100%)

◆クロス集計<Q2 年齢と Q1 性別>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
男	0	4	5	14	24	43	26	4	0	120
女	1	8	15	29	25	40	52	7	0	177
未回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
合計	1	12	20	43	49	83	79	11	1	299

▶ 回答者は、80歳代女性が52人で最多。次いで70歳代男性が43人であった。

Q3 職業

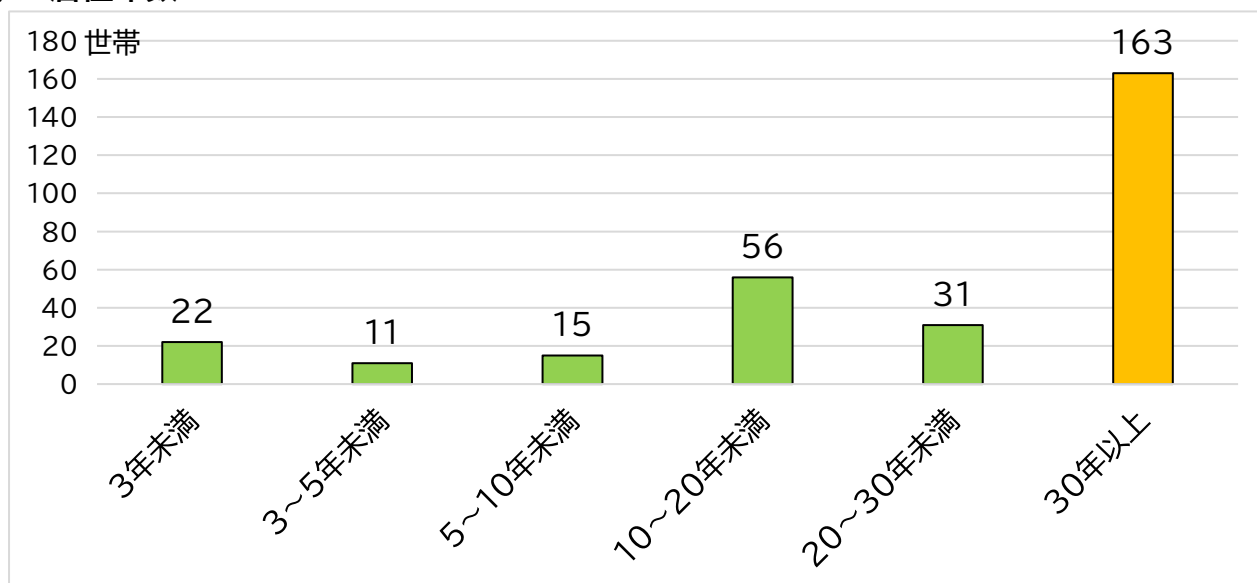


退職者等	専業主婦	会社員、 公務員	パート、 アルバイト	自営業	その他	未回答	合計
83 (28.3%)	76 (25.9%)	52 (17.8%)	37 (12.6%)	21 (7.2%)	24 (8.2%)	6	299 (100%)

(その他の回答)

無職(10)／年金生活／造園業／障害者・福祉作業所に通所／定年退職後の主婦／退業者

Q4 居住年数

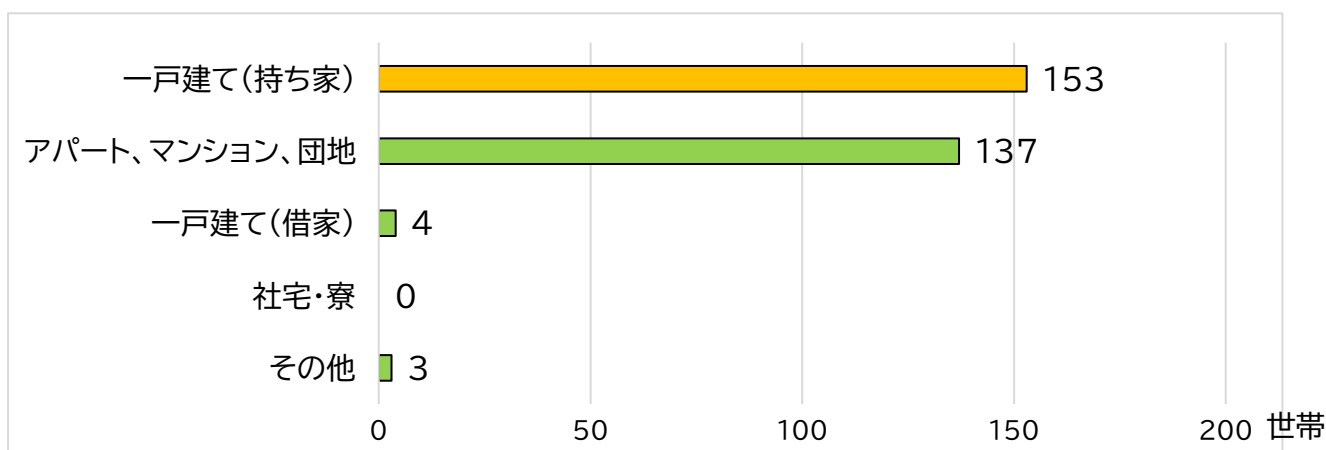


◆クロス集計<Q4 居住年数と Q2 年齢>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
30年以上	0	0	1	14	20	48	69	11	0	163 (54.7%)
20~30年未満	0	0	1	2	12	13	3	0	0	31 (10.4%)
10~20年未満	0	1	13	17	9	12	4	0	0	56 (18.8%)
5~10年未満	0	3	2	4	1	4	1	0	0	15 (5.0%)
3~5年未満	0	4	1	1	3	2	0	0	0	11 (3.7%)
3年未満	1	4	2	5	4	4	2	0	0	22 (7.4%)
未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	1	12	20	43	49	83	79	11	1	299 (100%)

▶ 60歳代・70歳代・80歳代・90歳代は30年以上住んでいる世帯が最多。60歳代・70歳代・80歳代で居住年数が3年未満の世帯もいた。

Q5 お住まいの形態



一戸建て(持ち家)	アパート、マンション、団地	一戸建て(借家)	社宅・寮	その他	未回答	合計
153 (51.5%)	137 (46.1%)	4 (1.4%)	0 (0%)	3 (1.0%)	2	299 (100%)

(その他の回答)

マンション付一戸建て

◆クロス集計<Q5 お住まいの形態とQ4 居住年数>

	一戸建て(持ち家)	アパート、マンション、団地	一戸建て(借家)	その他	未回答	合計
30年以上 ★1	78 (51.0%)	80	2	2	1	163
20~30年 未満	16 (10.5%)	14	0	1	0	31
10~20年 未満	42★2 (27.5%)	14	0	0	0	56
5~10年 未満	5 (3.2%)	10	0	0	0	15
3~5年 未満	6 (3.9%)	4	1	0	0	11
3年 未満	6 (3.9%)	15	1	0	0	22
未回答	0	0	0	0	1	1
合計	153	137	4	3	2	299

▶一戸建て(持ち家・借家)、集合住宅(アパート・マンション・団地)ともに、30年以上住んでいる世帯が最多。一戸建て(持ち家)に住む世帯のうち、27.5%が10~20年未満であった。

◆クロス集計 ★1

<Q5 お住まいの形態と Q4 居住年数が 30 年以上と Q2 年齢>

		一戸建て (持ち家)	アパート、 マンション、 団地	一戸建て (借家)	その他	未回答	合計
30 年以上	90 歳以上	5	6	0	0	0	11
	80 歳代	37	31	1	0	0	69
	70 歳代	19	28	0	0	1	48
	60 歳代	12	7	1	0	0	20
	50 歳代	4	8	0	2	0	14
	40 歳代	1	0	0	0	0	1
	30 歳代	0	0	0	0	0	0
	20 歳代	0	0	0	0	0	0
	合計	78	80	2	2	1	163

▶居住年数が 30 年以上の世帯は 80 歳代が最多。次いで 70 歳代であった。

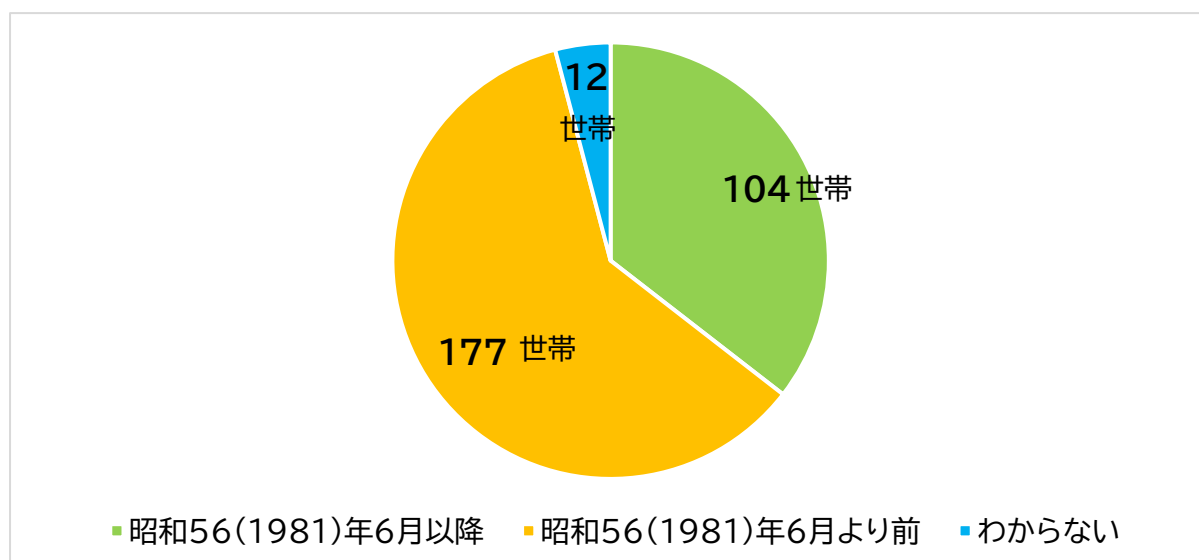
◆クロス集計 ★2

<Q5 お住まいの形態が一戸建て(持ち家)と Q4 居住年数が 10~20 年未満と Q2 年齢>

		一戸建て (持ち家)
10~20 年 未満	90 歳以上	0(0%)
	80 歳代	2(4.8%)
	70 歳代	6(14.3%)
	60 歳代	6(14.3%)
	50 歳代	15(35.7%)
	40 歳代	12(28.6%)
	30 歳代	1(2.3%)
	20 歳代	0(0%)
	合計	42(100%)

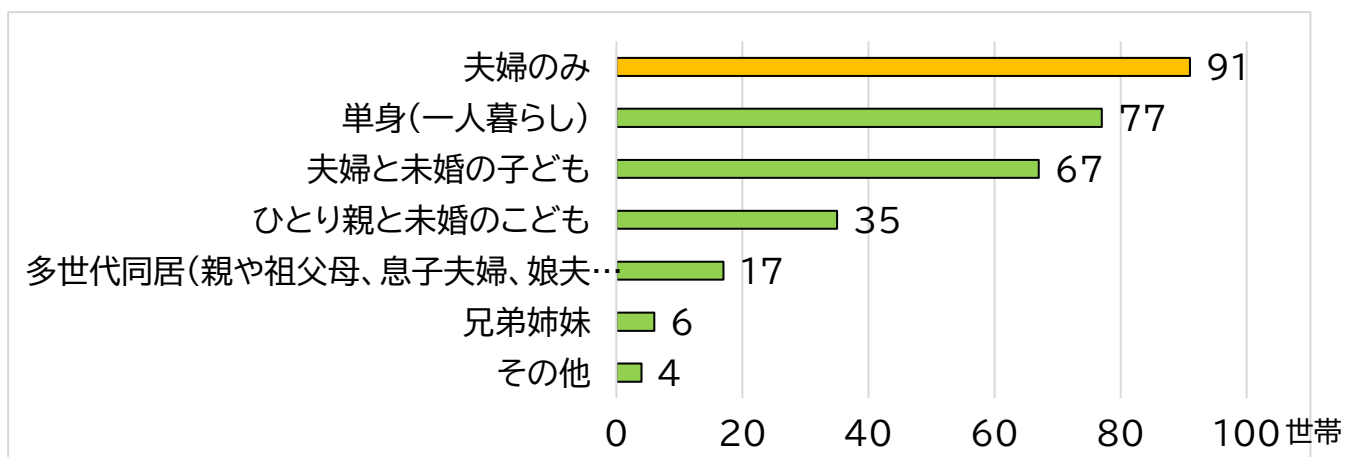
▶居住年数が 10~20 年未満で、一戸建て(持ち家)に住む世帯は、50 歳代が最多。次いで 40 歳代であった。

Q6 お住まいが建てられた年



昭和56(1981)年6月より前	昭和56(1981)年6月以降	わからない	未回答	合計
177 (60.4%)	104 (35.5%)	12 (4.1%)	6	299 (100%)

Q7 世帯構成はつぎのどれにあたりますか。



(その他の回答)

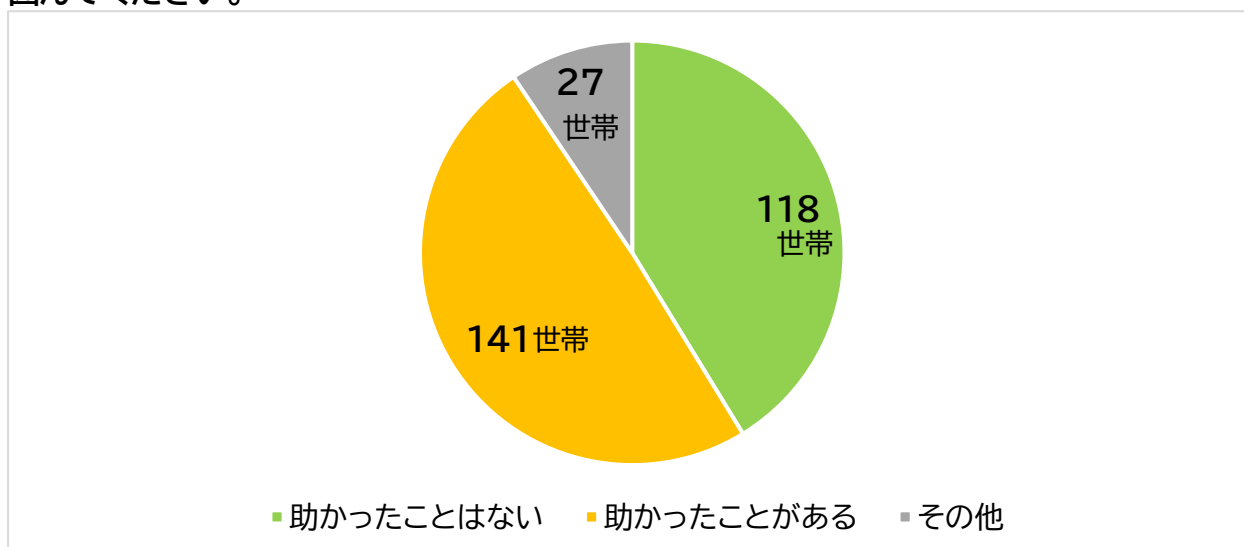
母親と2人暮らし(2)／ひとり親と単身赴任でわが家に来て同居している子ども／夫は施設入所中なるも近日帰宅予定

◆クロス集計<Q7 世帯構成と Q2 年齢>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
夫婦のみ	0	2	1	4	20	34	27	3	0	91 (30.6%)
単身	1	0	1	8	11	24	28	4	0	77 (25.9%)
夫婦と未婚の子ども	0	8	16	18	8	12	5	0	0	67 (22.6%)
ひとり親と未婚の子ども	0	1	1	6	3	8	12	4	0	35 (11.8%)
多世代同居	0	1	1	3	5	2	5	0	0	17 (5.7%)
兄弟姉妹	0	0	0	2	1	3	0	0	0	6 (2.1%)
その他	0	0	0	2	1	0	1	0	0	4 (1.3%)
未回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
合計	1	12	20	43	49	83	79	11	1	299 (100%)

▶ 70歳代の夫婦のみ世帯が最多。次いで、80歳代の単身となった。ひとり親と未婚の子ども世帯の最多は80歳代であった。

Q8 ご近所とのつきあいがあって助かったことはありますか。あてはまる数字1つを○で囲んでください。



(その他の回答)

つき合いが無い・会うことがない・挨拶程度(7)／今のところ必要な場面が無かった(5)／助けたことがある(2)／つきあいのあった人が4～5年前に他界／何か助かったではありませんが皆さんよく下の子に声を掛けて下さり有難いです。／助かるまでではなくとも、立ち話やお裾分けなどの細やかな日常の交流があり、安心感がある。／住んでいるだけで助かります。／話しは良くする／工事関係の連絡等／なんともいえない

◆クロス集計<Q8 ご近所とのつきあいがあって助かったことと Q2 年齢>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
助かったことがある	1	5	13	22	22	33	40	5	0	141 (49.3%)
助かったことはない	0	6	6	17	25	37	22	5	0	118 (41.3%)
その他	0	1	1	3	2	8	12	0	0	27 (9.4%)
未回答	0	0	0	1	0	5	5	1	1	13
合計	1	12	20	43	49	83	79	11	1	299 (100%)

▶40歳代・50歳代・80歳代で、ご近所とのつきあいがあって助かったことがある、と答えた世帯の方が多かった。

◆クロス集計<Q8 ご近所とのおつきあいがあったことと Q5 お住まいの形態>

	一戸建て (持ち家)	アパート、 マンション、 団地	一戸建て (借家)	その他	未回答	合計
助かったことがある	72	63	4	2	0	141
助かったことはない	62	56	0	0	0	118
その他	14	12	0	0	1	27
未回答	5	6	0	1	1	13
合計	153	137	4	3	2	299

▶一戸建て(持ち家・借家)、集合住宅(アパート・マンション・団地)ともに、ご近所とのおつきあいがあった事があると回答した人の方が多かった。

(Q8で「助かったことがある」に○をした方はご回答ください)

Q9 ご近所とのつきあいがあって助かったことはどんなことですか。具体的にご記入ください。例:となりの方が体調不良に気付いてくれ、関係者に連絡してくれて助かった。

◆クロス集計<Q5お住まいの形態と Q9ご近所とのつきあいがあって助かったことはどんなことですか>

多く挙げられた意見（複数回答につき、述べ集計）	お住まいの形態(Q5)	
	一戸建て	集合住宅
近所同士で助け合っている	23	13
情報交換が出来る	23	11
話し相手がいる	16	13
留守時に助け合った	6	9
子どもを見守ってくれる	13	1
トラブル発生時に助け合った	6	8
体調不良等、緊急時に助けてくれた	5	5
その他	6	5

全回答は、資料集 P.1～6 に掲載しています。

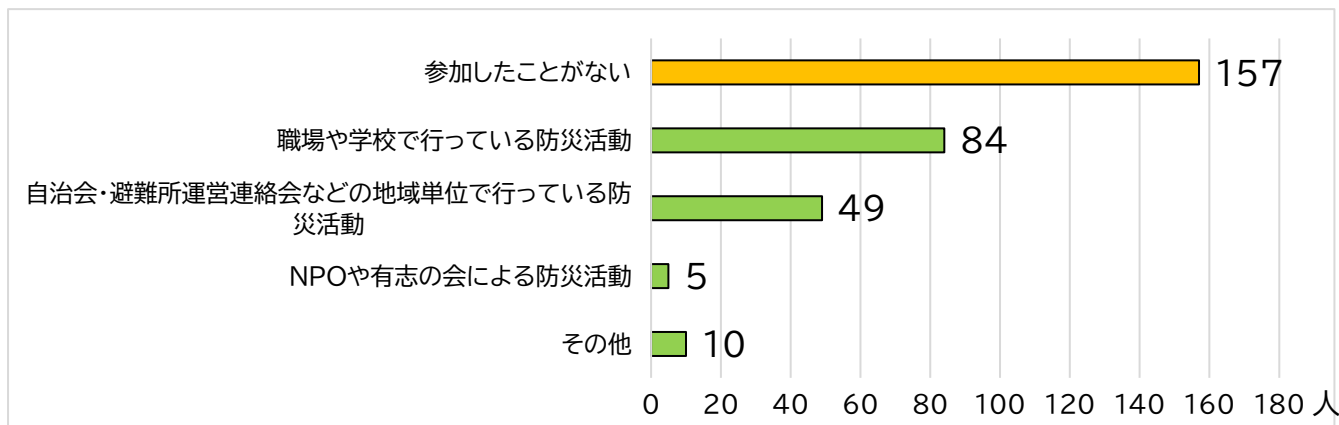
Q10 日常生活でお困りのことがあれば、自由にご記入ください。例：一人暮らしの高齢者。誰にも会わない日が続くと不安に感じてどうしたらよいのかと困っている。

◆クロス集計＜Q5お住まいの形態と Q10日常生活でお困りのことがあれば、自由にご記入ください＞

多く挙げられた意見（複数回答につき、述べ集計）	お住まいの形態(Q5)	
	一戸建て	集合住宅
自分の健康が心配	14	16
自宅の環境に困りごとがある	8	8
地域の環境に不安がある	11	2
近所付き合いが希薄になっている	3	4
家族のつながりがあるので助かっている	2	4
家族の事が不安	1	3
友人とのつながりに助けられている	1	2
その他	6	3
今のところ困りごとは無い	29	31

全回答は、資料集 P. 6～9 に掲載しています。

Q11 今まで参加したことがある防災活動は何ですか。あてはまる数字すべてを○で囲んでください。



(その他の回答)

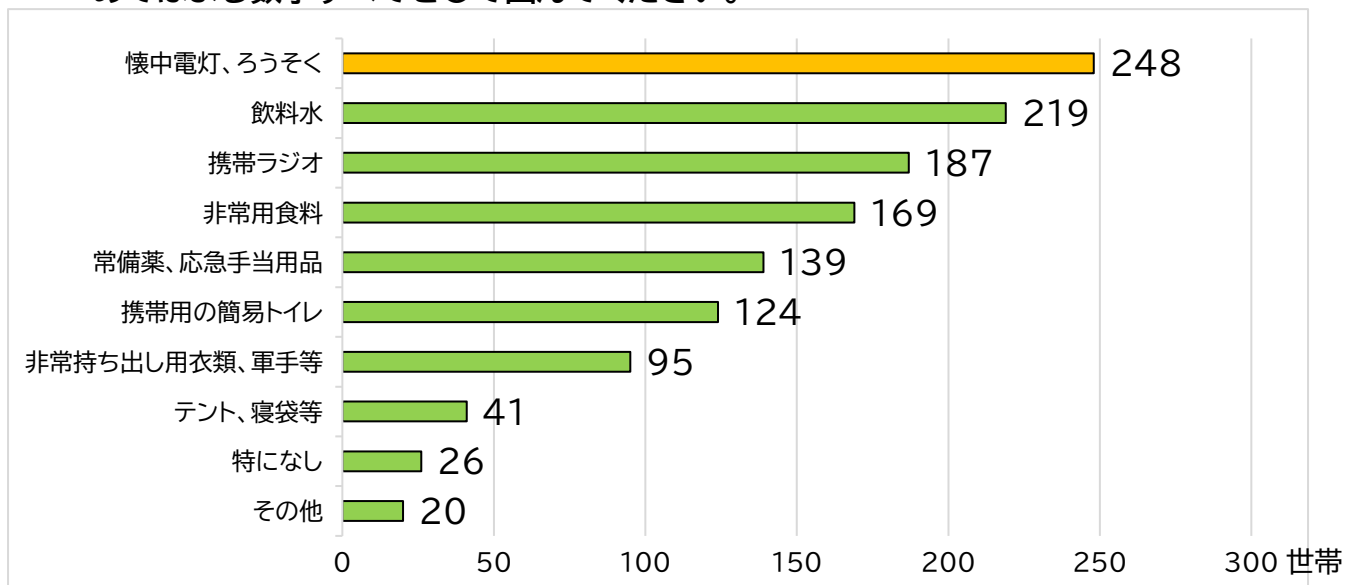
公園での防災イベント／他市で行っている防災イベント／商業施設のイベント／団地で呼びかけたモノ参加した／団地管理組合のAED講習、消火器使用訓練／昔働いていた職場での防災活動／ごく親しい近所の人達

◆クロス集計<Q2 年齢とQ11 防災訓練の参加の関係>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
参加したことがない	0	9	7	21	26	36	49	8	1	157 (51.5%)
職場や学校で行っている防災活動	1	1	11	17	18	27	9	0	0	84 (27.5%)
地域単位で行っている防災活動	0	1	2	5	3	20	16	2	0	49 (16.1%)
NPOや有志の会による防災活動	0	0	0	1	3	1	0	0	0	5 (1.6%)
その他	0	0	1	3	1	1	4	0	0	10 (3.3%)
未回答	0	1	0	0	1	4	2	1	0	9
合計	1	12	21	47	52	89	80	11	1	314 (100%)

▶ 30歳代・50歳代・60歳代・70歳代・80歳代・90歳代で、防災活動に参加した事が無い人が多かった。参加したことがある人は、70歳代までは職場や学校で行っている防災活動、70歳代・80歳代は地域単位で行なっている防災活動が多かった。

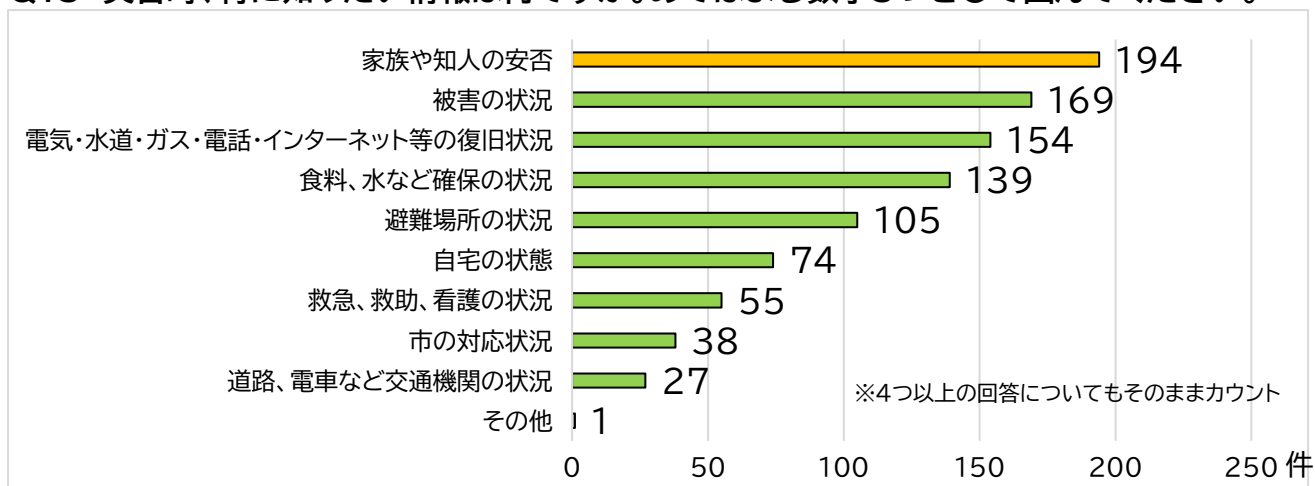
Q12 あなたの家では、災害に備えて水・食料・生活必需品の備蓄などの準備をしていますか。
あてはまる数字すべてを○で囲んでください。



(その他の回答)

カセットコンロ(5)／ガスボンベ(4)／財布・小銭・現金(4)／電地(2)／充電器(2)
 太陽光発電パネル(2)／非常用バッテリー／発電機／ブランケット／キャンプ用のベッド
 ビニール手袋／ティッシュ／トイレトーパー／トイレの袋／消臭剤／反射式ストーブ
 灯油／笛／爪切／サラン1反／スマホ／米
 消火器／防災セットバッグ
 食糧は特に用意せず、常に補充して余分があるようにしている／生活必需品は多めに

Q13 災害時、特に知りたい情報は何ですか。あてはまる数字3つを○で囲んでください。



(その他の回答)

上記全て知りたい

◆クロス集計<Q2 年齢とQ13 災害時特に知りたい情報の関係>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
家族や知人の安否	1	11	19	27	38	42	49	6	1	194 (20.3%)
被害の状況	1	9	8	21	32	50	39	8	1	169 (17.7%)
電気等の復旧状況	0	2	6	19	25	47	50	5	0	154 (16.1%)
食料、水など確保の状況	1	6	14	19	20	41	34	4	0	139 (14.5%)
避難場所の状況	0	4	7	23	17	24	27	3	0	105 (11.0%)
自宅の状態	0	1	5	10	11	21	23	2	1	74 (7.7%)
救急、救助、看護の状況	0	2	1	10	6	14	19	3	0	55 (5.8%)
市の対応状況	0	0	0	4	3	8	19	4	0	38 (4.0%)
交通機関の状況	0	0	1	6	5	10	5	0	0	27 (2.8%)
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1 (0.1%)
未回答	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4
合計	3	35	62	139	157	259	267	35	3	960 (100%)

▶ 年齢で災害時に知りたい情報に大きな差がなかった。

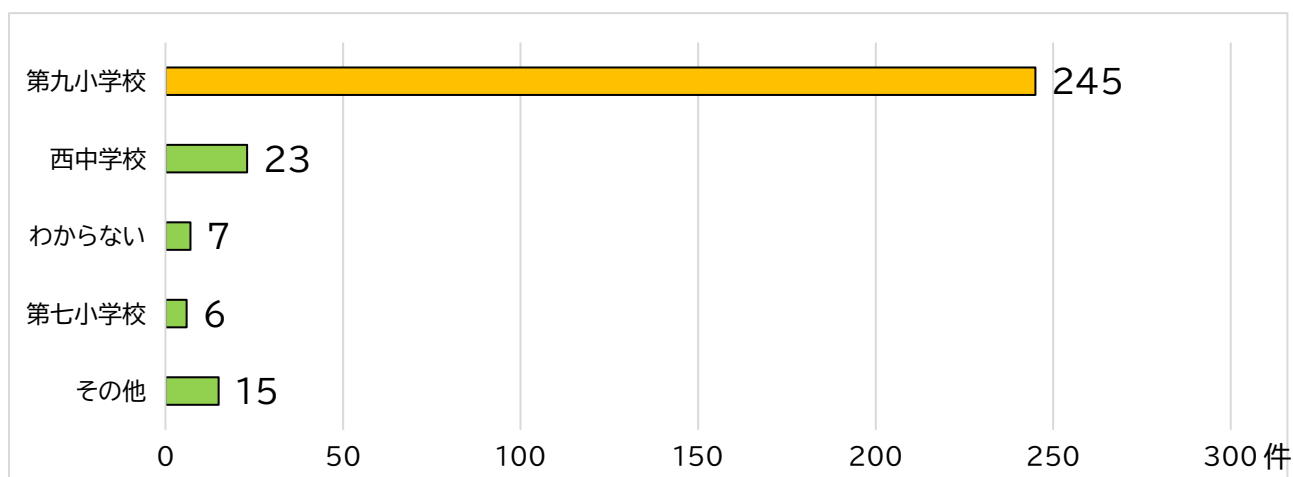
Q14 避難時の行動について、ご家庭で確認しているものはありますか。ご自由にご記入ください。例：避難場所がどこにあるのか。自分の家から歩いてどのくらいかかるのか。

◆クロス集計＜Q5お住まいの形態と Q14避難時の行動について、ご家庭で確認しているものはありますか。＞

多く挙げられた意見（複数回答につき、述べ集計）	お住まいの形態(Q5)	
	一戸建て	集合住宅
避難場所	53	43
避難にかかる時間	9	15
備え・持っていく物	11	3
自宅にとどまる・自宅集合	7	6
家族同士の安否確認	7	6
どうしてよいか分からない	3	0
安全確保の方法	2	0
その他	10	7
特に確認していることはない	10	12

全回答は、資料集 P.9～13 に掲載しています。

Q15 地震による災害が起きた場合の避難所はどこを考えていますか。あてはまる 数字1つを○で囲んでください。※避難所は、地域ごとに指定されていますが、必要な場合はどこの避難所を利用してもよいとされています。

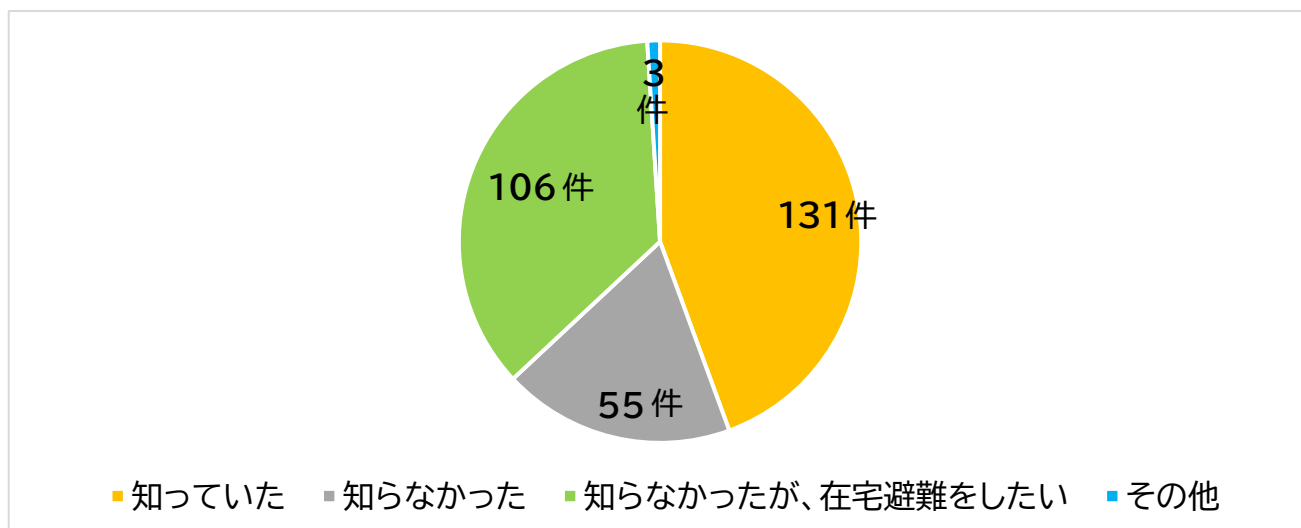


第九小学校	西中学校	わからない	第七小学校	その他	未回答	合計
245 (82.8%)	23 (7.8%)	7 (2.4%)	6 (2.0%)	15 (5.0%)	3	299 (100%)

(その他の回答)

わくわく健康プラザ・旧滝山小(5)／西部地域センター(2)／滝山グラウンド(2)／あじさい公園・公園(3)／在宅避難と決めている(3)／犬がいるので避難所には行けないと思っている／避難の必要を感じていない。頑丈な集合住宅だから。／上記 Q14と同じ／一番近いのでとりあえずこと決めている。

Q16 市から「在宅避難」(災害発生時に自宅が安全な場合、自宅に留まる方法)が呼びかけられています。これについてご存知でしたか。あてはまる数字1つを ○で囲んでください。



(その他の回答)

避難困難

◆クロス集計<Q2 年齢と Q16 在宅避難の関係>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
知っていた	0	5	8	10	20	48	33	6	1	131 (44.4%)
知らなかった	1	2	3	15	10	9	12	3	0	55 (18.7%)
知らなかったが、在宅避難をしたい	0	5	9	17	19	22	32	2	0	106 (35.9%)
その他	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3 (1.0%)
未回答	0	0	0	0	0	3	1	0	0	4
合計	1	12	20	43	49	83	79	11	1	299 (100%)

▶70歳代以外は、在宅避難について、知らなかった(「知らなかった」「知らなかったが、在宅避難をしたい」の回答者)と回答した人の方が多かった。

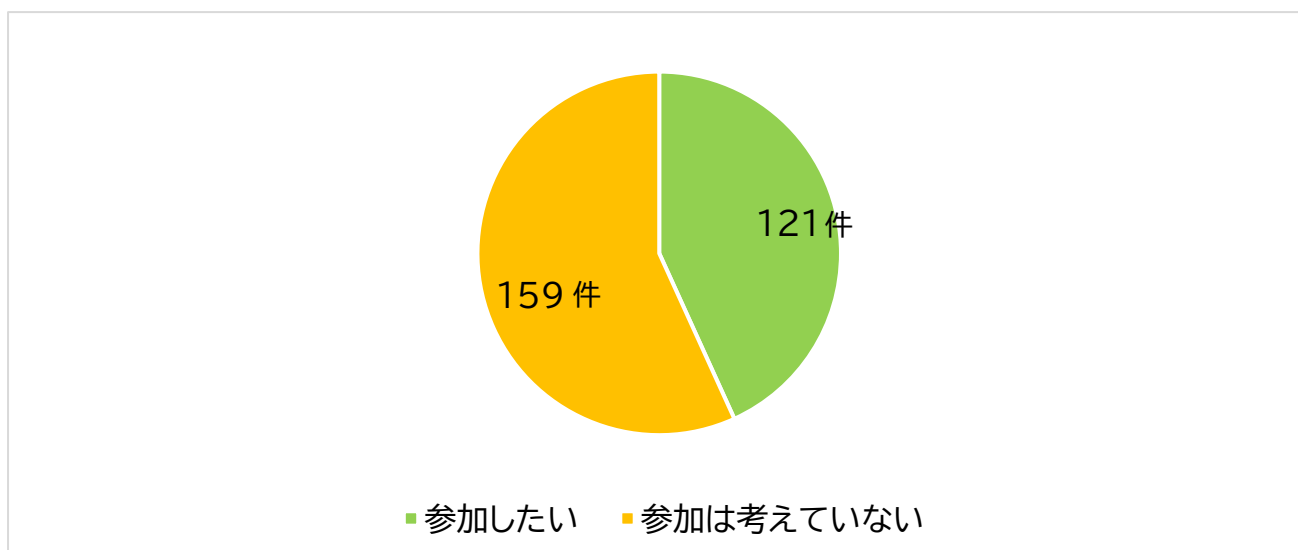
Q17「在宅避難」の時に、不安なことがありますか。自由にご記入ください。例:どうすれば災害の情報が手にはいるのか。

クロス集計<Q5お住まいの形態と Q17「在宅避難」の時に、不安なことがありますか。>

多く挙げられた意見（複数回答につき、述べ集計）	お住まいの形態(Q5)	
	一戸建て	集合住宅
災害発生時に適切な情報が得られるか不安	56	33
食料が確保できるか不安	36	26
ライフライン・インフラが断たれた時の不安	14	14
医療的なケアを受けられるか、緊急時の体調管理が不安	10	5
在宅避難をする建物の安全性が不明	4	10
トイレは使えるのか	2	5
その他	12	12

全回答は、資料集 P.13～19 に掲載しています。

Q18 災害発生時、様々なボランティア活動が必要になります。参加したいと思いますか。



◆クロス集計<Q2 年齢と Q18 災害ボランティア参加への関係>

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	未回答	合計
参加したい	1	11	9	19	28	31	20	1	1	121 (43.2%)
参加は考えていない	0	1	10	24	19	47	50	8	0	159 (56.8%)
未回答	0	0	1	0	2	5	9	2	0	19
合計	1	12	20	43	49	83	79	11	1	299 (100%)

▶20歳代・30歳代・60歳代で、災害時のボランティア活動に参加したいと答えた人の方が多かった。また、参加は考えていないと回答した人のなかには、参加したい気持ちはあるが、高齢や健康面等から難しい、との記載が6件あった。

Q19 東久留米市社会福祉協議会へご意見ご要望があれば、自由にご記入ください。
 クロス集計<Q5 お住まいの形態と Q19東久留米市社会福祉協議会へのご意見ご要望があれば、自由にご記入ください>

主な意見(複数回答につき、述べ集計)	お住まいの形態(Q5)	
	一戸建て	集合住宅
社協へのご要望	5	6
社協へのご意見	6	4
災害に関する考え、備え、提案	5	3
これからに対する不安	2	2
生活・市のサービスについて	2	0
地域への思い、ご近所関係の事	2	0
その他	12	15

全回答は、資料集 P.19～22 に掲載しています。

令和6年2月17日

〒203-0033 東久留米市滝山4-3-14 わくわく健康プラザ2階

社会福祉法人 東久留米市社会福祉協議会 西部地域担当

電話 042-471-0294(代表) ファクス 042-476-4545

ホームページ <https://www.higashikurume-shakyo.or.jp/>

この事業は、歳末たすけあい募金地域福祉活動費を活用しています。

